



梅雨の季節・・・断続的に雨が続いています

昨日月曜日は激しい雨の週明けとなりました。豊中市では大雨、強風、雷注意報がでていたほどです。そのような中、登校時に「ギリギリだよ、急ごうね。」と私が声をかけた人は数人。ほとんどの人たちは雨に濡れながらも、時間に余裕をもって登校し、「靴（くつ）ヤバイ」などつぶやきながら教室に向かっていました。朝のあいさつや、登校時間にもみなさんの落ち着いた生活ぶりが表れています。



登校が一段落すると、私は一年生の教室をのぞきます。シーンとした中、朝の読書に取り組んでいます。時々席が空いていることもあります。事情や欠席連絡を聞いている人はわかるのですが、理由がよくわからないまま席が空いていたり、席についていても本を読まずに突っ伏していたりしていたら、「どうしたのかな…。体調が悪いのかな、それとも何かしんどいことがあるのかな？」と気になります。もし、家庭の事情や、気持ちのしんどさなどがある人は担任の先生に相談してくださいね。

週末には、熊本県で冠水により多くの方が被害に遭っているというニュースが報道されていました。鹿児島県や宮崎県も川の氾濫の恐れがあるということで、本当に心配な状況です。豊中市は幸い近年大きな自然災害は発生していないのですが、決して安心はできません。かつては千里川の氾濫がしょっちゅうあったと聞いていますし、阪神淡路大震災の時も被害は大きかったです。

豊中市は6月に「ため池ハザードマップ」を作り、「もし、ため池が決壊したら〇分後にはここまで冠水をする」という情報を公開しました。

実は十八中の体育館がある山所池のハザードマップも、豊中市のホームページに公開されています。それによると、山所池が決壊すると約30分後には蛍池小学校にまで冠水する、と予想されています。みなさんも一度、家族でハザードマップを見てください。



豪雨やコロナの状況が気になる昨今です。「自分は大丈夫」ではなく、自分でできる対策は普段から心掛けておこうね。



最後まで目が合い続けました

先週の金曜日に、各学年でこれからの学校行事についての話がありました。2年生、3年生には私が直接話をしました。

修学旅行や宿泊学習は、2年生、3年生にとって楽しみな行事ただだけに、その中止を聞くのは本当に残念で、つらい気持ちだったと思います。私は、2年生、3年生の顔を見ながら話をしました。どの方向に顔を向けても最後までみなさんと目が合い続けました。つらい話のはずなのに、途中でうなだれたり、ざわついたりすることなく、最後まで顔を上げ、目を見て話を聴こうとするみなさんの気持ちがうれしかったし、同時に切なくもありました。代わりとなる「日帰り体験活動」がみなさんにとって楽しく充実したものになればいいなと思います。

1年生ボランティア体験学習、2年生職場体験学習も中止です…

金曜日に伝えた行事だけではなく、1年生のボランティア体験、2年生の職場体験も残念ながら今年度は中止になりました。地域のおとなから学ぶ貴重な学習なのですが、

- 今、多くの施設や事業所がコロナ対応で日常の業務や運営がやりにくい状況になっている。
 - 十八中生が訪問した時に万一コロナ感染が発生したら、さらに大変な状況になる。
- という理由で中止を判断しました。1年生、2年生には施設や事業所訪問とは違う形で「ボランティア」や「働くこと」について学ぶ機会を設けたいです。

クラスミーティングで思いを伝え合い、聴き合いました

6月18日に1年生、7月1日に2、3年生のクラスミーティングがありました。1年生からは、「勉強やクラブを頑張りたい。友だちたくさんつくりたい」など中学生になって張り切っている思いが多く聞かれました。2年生は、「先輩」という立場になった喜びや責任感、3年生は進路に対する決意や不安などを語る人が多かったようです。仲間を信頼して、知ってほしい自分のことを伝えた人もいたという話も聞きました。3学期に2回目のクラスミーティングがあります。今のクラスでの友だち関係もその頃にはぐっと深まっているはず。さらに「この仲間だからこそ知ってほしい自分の思い」を多く伝え合い、聴き合えたらいいなと思いました。



図書館へ行こう！ 十八中図書館の本紹介



「青春サプリ。— いつだってそこに仲間がいる」作：日比野恭三ほか
サブタイトルに「心が元気になる、5つの部活ストーリー」とあるように、中学や高校の部活を舞台にした人間ドラマを描いた本です。しかも、5つの話とも実話なので、主人公をネットで検索すれば画像や活躍ぶりを見ることができます。チア、バレー、バスケット、バドミントン、馬術部のお話。挫折を乗り越えていく部員たちの頑張りに元気をもらえます。